



平成 28 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 エコートレーディング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 豊田 実  
(コード：7427、東証第一部)  
問合せ先 専務取締役人事総務本部長 新森 英機  
(TEL. 0798-41-8317)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 1 月 8 日に開示しました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

|                                       | 売 上 高  | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 |
|---------------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------------------|
|                                       | 百万円    | 百万円     | 百万円     | 百万円       | 円 銭                 |
| 前 回 発 表 予 想 ( A )                     | 75,600 | △136    | △115    | 293       | 48.54               |
| 今 回 修 正 予 想 ( B )                     | 75,256 | △331    | △306    | △212      | △35.16              |
| 増 減 額 ( B - A )                       | △344   | △195    | △191    | △505      | —                   |
| 増 減 率 ( % )                           | △0.5   | —       | —       | —         | —                   |
| ( 参 考 ) 前 期 実 績<br>( 平 成 27 年 2 月 期 ) | 74,672 | 59      | 70      | 93        | 15.46               |

#### 2. 修正の理由

平成 28 年 2 月期の連結業績につきましては、ペット市場の成長率鈍化（飼育頭数の伸び悩みや飼育生体の小型化）が続く中で、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

また、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品の販売価格の下落の進行や物流コストの上昇、さらに後述の在庫削減の取組みにより、営業利益及び経常利益は前回を下回り、これに加えて繰延税金資産の一部取崩しにより法人税等の負担額が増加し、当期純利益も前回発表予想を下回る見通しとなりました。

当社は、得意先様に商品を安定供給するために品揃えを強化してきた結果、在庫が適正水準を超えるようになり、倉庫内の作業環境の悪化に伴う物流作業費や保管費の上昇を招くようになりました。そこで、新中長期経営計画に基づく経営改革の一環として、在庫及び物流効率の抜本的な改善を目的として、社内に在庫削減プロジェクトチームを結成し、商品供給の品質を維持しながら在庫削減を金額面のみならず、商品アイテム面においても徹底して行い、物流効率の向上と在庫削減に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度末の商品在庫は、前期と比較して10億8百万円減少しております。

一方、この在庫削減方針に伴い、仕入高が前期に比べ一時的に減少したことにより仕入割戻が減少したこと、及び在庫削減のスピードアップを図るため販売を急いだことが売上総利益の減少の主な要因となりました。

以上の理由により前回の発表予想から修正を行なうものであります。

なお、期末配当につきましては、現時点において変更はございません。

当連結会計年度に在庫水準の適正化に目途が立ちましたので、今後は単品管理の精度向上により適正在庫の維持、売上総利益の拡大及び物流コストをはじめとする販売費及び一般管理費の削減に注力してまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上